



2020年1月30日

各 位

会 社 名 第一工業製薬株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 坂 本 隆 司
(コード番号 4461)
問合せ先 常務取締役財務本部長 浦 山 勇
(T E L 075-323-5955)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年4月25日に公表しました2020年3月期通期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期の連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	64,000	5,100	5,000	3,000	295.25
今回修正予想(B)	62,000	4,300	4,100	2,300	226.23
増減額(B-A)	△ 2,000	△ 800	△ 900	△ 700	
増減率(%)	△ 3.1	△ 15.7	△ 18.0	△ 23.3	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	59,574	4,341	4,175	2,581	254.11

2. 修正の理由

売上高は、前回の発表予想に対して3.1%減少する見込みです。顕著に増収を続けているIT・電子用途の光硬化樹脂用材料を除けば、米中貿易摩擦の影響等により当社の商品需要も若干ながら鈍化しています。

損益面では、営業利益、経常利益、純利益はいずれも20%前後減益となる見込みです。昨年9月20日に公表しました当期中間期の業績予想の修正以降、値上げ、コストダウン、経費の削減等に取り組んでまいりました。一方、IT・電子用途の光硬化樹脂用材料の暫定的増産体制によるコストアップは続いています。残された時間は僅かではありますが、当期は中期経営計画の最終年度であり、有終の美を飾るべく利益改善に努めます。

なお、昨年8月に着工したIT・電子用途の光硬化樹脂用材料の増強投資の工事は順調に進んでおり、完成後は旺盛な需要に対応してまいります。

※業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上